

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和元年10月4日（金）10：30～

場所 白石市防災センター 2階 会議室

1. 幼稚園への段ブロック寄付受納について
2. （仮称）白石中央スマートインターチェンジ準備段階調査の採択について

令和元年10月 定例記者会見資料

## 幼稚園への段ブロック寄付受納について

担当：教育委員会学校管理課

今回のご寄付は、大同生命保険株式会社、A I G 損害保険株式会社、一般社団法人 宮城県法人会連合会 様が 2005年度より、社会貢献活動の一環として、法人会会員が「経営者大型総合保障制度」に加入した際に、その収益の一部を寄付する活動「ビッグハート・ネットワーク」を実施しており、今回、公益社団法人 仙南法人会 様の申立により、「ビッグハート・ネットワーク」東日本大震災の復興支援事業の一環として市内3幼稚園に「段ブロック」を寄付いただくものです。

今回ご寄付を頂戴いたします「段ブロック」を有効に活用させていただきながら、本市における幼児教育の充実に努めてまいります。

### 1 寄付者

大同生命保険株式会社 様  
A I G 損害保険株式会社 様  
一般社団法人 宮城県法人会連合会 様

### 2 寄付物件

- (1) 段ブロック 4, 500ピース  
(第一幼稚園、第二幼稚園、ひかり幼稚園 3幼稚園へ)

令和元年10月定例記者会見資料

## (仮称)白石中央スマートインターチェンジ 準備段階調査の採択について

担当：建設部建設課

令和元年9月27日付け、国土交通省はスマートインターチェンジについて、新たに全国9箇所で開催段階調査への採択を公表しましたが、その9箇所の中に(仮称)白石中央スマートインターチェンジ整備が選定されました。

(仮称)白石中央スマートインターチェンジの整備については、平成30年度から国土交通省、宮城県、東日本高速道路株式会社と6回にわたる勉強会を開催し、インターチェンジの必要性、周辺道路の現況、整備方針の確認等を検討してまいりました。

その中で、白石市の基幹産業である製造業への支援や新たな工業団地での企業誘致、あるいは観光産業の活性化、中心市街地の賑わい創出など、その必要性が認識されているところです。

当市では今後、国土交通省、宮城県、東日本高速道路(株)などの関係機関で構成する準備会を設置し、スマートインターチェンジのより詳細な検討を進め、早期の事業化を目指してまいります。

### [新規準備段階調査箇所]

○スマートインターチェンジの名称(仮称)

(仮称)白石中央スマートIC

○検討位置

宮城県白石市

○路線名

東北縦貫自動車道弘前線(国見IC～白石IC間)